

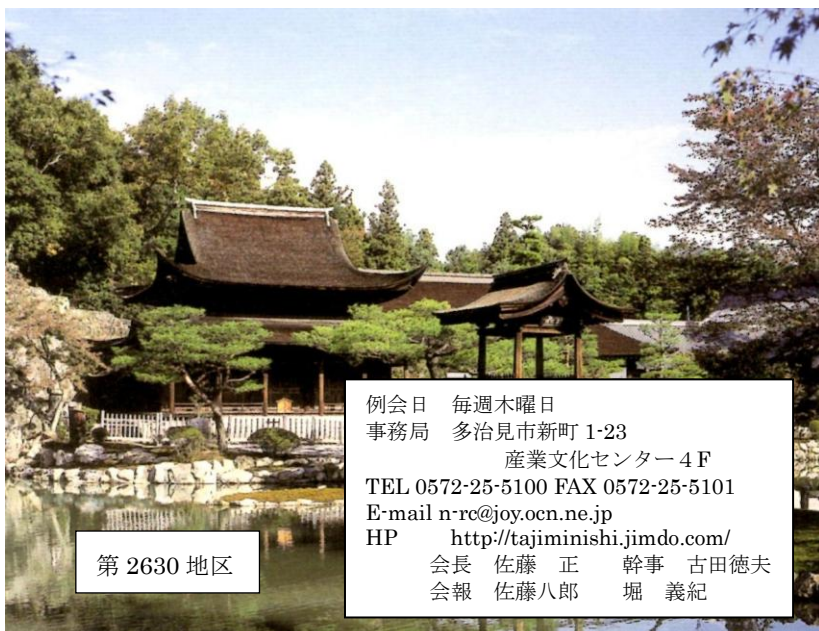


平和 茶碗の図

人間国宝 荒川豊蔵氏筆

多治見西 RC 創立 10 周年記念誌より

右写真 平成 2 3 年 虎溪山永保寺



第 2630 地区

例会日 毎週木曜日
 事務局 多治見市新町 1-23
 産業文化センター 4F
 TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101
 E-mail n-rc@joy.ocn.ne.jp
 HP http://tajiminishi.jimdo.com/
 会長 佐藤 正 幹事 古田徳夫
 会報 佐藤八郎 堀 義紀

第 46 期会長テーマ
 「つなげよう奉仕の心」



第 2217 例会 2011 年 12 月 22 日 (木)

親睦家族忘年例会

場所：グランドティアラ 点鐘：午後 6 時

本日のプログラム

- 点鐘
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 会長挨拶
- 幹事報告
- お祝い 親睦委員長
お誕生日・結婚記念日
- 点鐘
- 懇親会
- 親睦委員長挨拶
- 乾杯
- ミニライブ
- 閉会の挨拶
- 手に手つないで



演奏者の紹介

Helen Horner ヘレン・ホーマー (Jazz Singer)

フィリピン出身 13 歳でプロのジャズバンドとベトナムのアメリカンベースキャンプツアーに参加。18 歳で「The Fourth Congregation」のヴォーカルになり 1980 年にソロで来日。正攻法でわかりやすい歌唱法が高く評価されている。

東 敬二 (ピアノ・コンポーザー)

東海地区を中心に活躍するジャズピアニスト。1985 年より演奏活動を始める。中国蘇州・広州の招待演奏、東海地区のライブハウスなどで精力的に演奏活動を行っている。

多湖一博 (ベース)

昭和 38 年 8 月 2 日名古屋生まれ。12 歳でベースを始め 17 歳でウッドベースに転向。名古屋ジャズシーンの最重鎮ギタリスト「和田 直」に認められそのカルテットで各地のジャズコンサートに参加する。

着信書類

- ・土岐 RC より創立 50 周年記念 DVD 拝受。
- ・多治見まつり協賛金協力のお礼。

年末年始のご案内

12 月 29 日(木)1 月 5 日(木) 特別休会 1 月 12 日(木) 新年互礼会・お祝い例会

事務局年末年始休暇 12 月 28 日 (水) 午後 ~ 1 月 4 日 (水)

12月のお祝い

お誕生日

12月28日 中島竹壽君
 12月29日 谷口津富君
 12月13日 松浦紀子様（毅君夫人）

結婚記念日

12月2日 各務成喜君
 12月18日 柘植途始江さん



先週の記録

◆ 出席報告（出席免除者5名内出席者1名）

| 出席者 | 欠席者 | 出席率 |
|-----|-----|--------|
| 27名 | 7名 | 79.41% |

上半期平均出席率 **79.22%**

◆ スマイル報告

投函者 **16人** 金額 **16,000円**

12月スマイル合計 **65,000円**

上半期スマイル合計 **490,500円**

雑記

副会長 関谷泰久

ついに、本年最後の例会になってしまいました。46期も、やっと半分が終わったところです。後半の来年も宜しくお願ひいたします。ところで、今日（12月22日）は、冬至です。冬至に関することを書いてみます。冬至は、ご存知のように、二十四節気のひとつです。北半球では正午の太陽の高さが一年中で最も低くなり、昼の時間が最も短く、夜が最も長くなります。この日を境に日が長くなるので、古くはこの日を年の終点と考えていました。寒さはこの頃からいっそう厳しくなり、空気も乾燥してくるため、この日にゆず湯に入って体を温め冬至かぼちゃを食べる風習があります。「冬至にかぼちゃを食べると病気にならない」といわれています。その理由は、ビタミンAが不足すると抵抗力が落ちて風邪を引きやすくなりますが、かぼちゃには体内でビタミンAに変化するカロチンが多く含まれています。昔は冬至の時期になると新鮮な緑黄色野菜がなかなか手に入りませんでした。よって、長期保存がきき、栄養のあるかぼちゃは貴重な食物でした。（「おうち歳時記」より）かぼちゃで年末を乗り切り、元気で新年をお迎えください。

ポリオについて 2

地区財団ポリオ委員 石垣智康

ロータリーは、これまでに7億ドルのお金を使ってきましたが、独立モニタリング（IMB）委員会の報告によると、ポリオを退治するには2012年までに6億6500万ドルの資金が不足するということです。この不足分を補うためにゲイツ財団から3億5500万ドルを出し、これにロータリーが2億ドルを上乗せして補助することになりました。これまでに目標額に近い募金が集められましたが、この事業はこれで終わりというわけではなく、今後も手を緩めることなく、継続していくこととなります。私達の日本は、関西、東北の二つの震災によって多くの犠牲と損害を受けました。この震災から何を学んだでしょうか。一つにはコミュニティの意義について学ぶことができた。すなわち、助け合うことの大切さを学びました。そうして、貧しい国からの援助があったことも忘れてはなりません。そこで、これからの展望について考えてみましょう。今回の助け合うという心は、コミュニティの意味や境界線が広がるきっかけをつくったのではないか。地球の反対や、何の被害を受けなかった国からも日本人が今回の震災で示した対応や人間性を印象づけたのではないか。日本人とはこういうものだ、ということ強くアピールしたのではないのでしょうか。ロータリー財団が、ポリオの撲滅と再発防止に参加するのも「遠くかなたの国で起こっている悲劇に無関心ではない」というメッセージを送り、これに日本のロータリアンが深く関わっていることをアピールしているのです。いま見てもらったDVDでは、日本のロータリアンがポリオの撲滅に行動で示していることを理解していただけたと思います。皆さんから頂いた貴重な浄財がこのような活動にもいかされていることに感謝致します。

多治見3RC合同ゴルフコンペ成績

1位 谷口津富君
 2位 各務和宏君
 3位 山口 寛君

12月16日（金）
 スプリングフィールド

本年中はロータリー活動にご協力頂き有難うございました。皆様、良いお年をお迎え下さい。